

# 東近江市のまちづくり協議会

## 令和7年度 各地区の取組



共に  
考え

共に  
創る

# まちづくり協議会のあゆみ

## ◇東近江市の誕生

東近江市は、平成17年2月11日に八日市市、永源寺町、五個荘町、愛東町、湖東町の1市4町が合併して誕生し、翌平成18年1月1日に能登川町と蒲生町が加わり、現在の姿となりました。

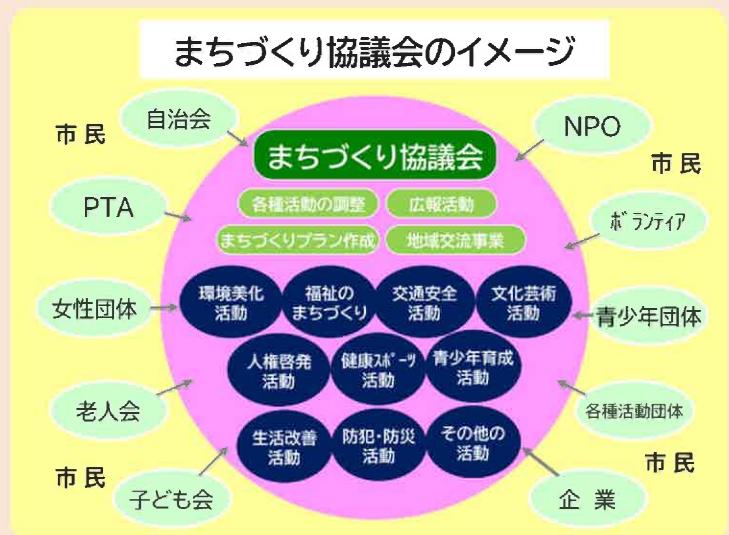


## ◇まちづくり協議会の誕生

合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性をいかしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区全てで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成26年4月に「東近江市協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置付け等も定められました。



まちづくり協議会は、地区の課題解決や個性をいかしたまちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターの指定管理を受託し、コミュニティセンターを拠点として活動しています。

## ◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成 25 年4月1日に法人化

## ◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

## ● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和7年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市下羽田84番地5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-22-1950 〈IP〉050-8034-1950 〈FAX〉0748-22-1950 〈e-mail〉hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://hirata-yumekaigi.com		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 自治会長12名 企画運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長 地域担当職員		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金:1,370千円/その他:515千円 〈指定管理会計〉コミセン指定管理料:16,916千円/その他:2,084千円 雪野山歴史公園等指定管理料:4,680千円/その他:75千円 平田体育館等指定管理料:7,968千円/その他:270千円 〈業務委託〉地域子育て支援拠点事業運営委託料:7,113千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1,000部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■地域の防災力を高める研修会 11月22日(土)平田コミュニティセンターにおいて、自治会長や各種団体が参加し、過去の地震災害などを参考に、ひとり一人の防災意識を高め、平田地区として今からできる具体的な防災対策について考える研修会を開催した。</p> <p>■びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT 5月18日(日)伊庭内湖をカヤックで進み、自転車で里を駆けぬげ、雪野山山頂をめざす環境スポーツイベントが開催された。平田地区まちづくり協議会は関係団体と協力し、ルートの点検整備や飲み物等の販売などで協力した。</p>		



## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 【若者定住】

- ・第18回水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」の開催（8月3日）
- ・ひらたパンまつりの開催（2回）  
（6月15日、12月21日）

### 【子ども・子育て応援】

- ・つどいの広場「すすかけっこ」の運営  
子育て相談（月1回）  
移動図書館（年12回）  
栄養士さんのおはなし会（年3回）等
- ・「げんきっこ・ひらた」の活動  
秋まつり、映画会、クリスマス会、  
五平餅作りとお正月遊び  
関西国際空港見学ツアー

### 【高齢者福祉】

- ・命のバトン普及事業
- ・誰でも立ち寄れる居場所づくり  
月1回「カフェゆきのまよとふれあい広場」開催
- ・困りごとを支援するしくみづくり  
チョイサポ平田の活動

### 【田園環境】

- ・第8回平田の田園環境写真コンテスト
- ・地域散策ガイド事業  
里山保全団体と連携協力し、蒲生野トレイルの維持管理

### 【地域活性化】

- ・地域の特産品活用事業  
平田地区内の「うまいもん店・特産物等」  
を調査し、紹介・PRポスターを作成

### 【公園管理運営】

- ・雪野山歴史公園（散策路含む）・華岳山公園の管理運営

### 【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

- ・平田コミセンと一体的に、平田体育館、平田グラウンドの管理運営



水鉄砲合戦



ひらたパンまつり



げんきっこ秋まつり



カフェゆきのまよとふれあい広場

● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

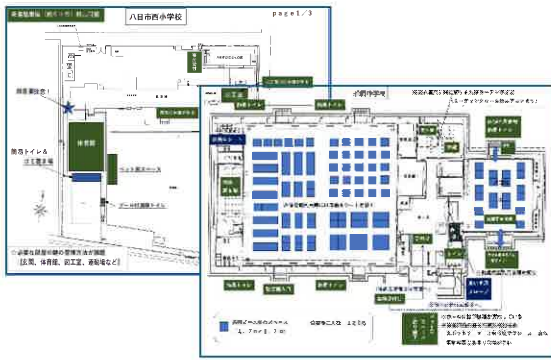
【令和7年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市辺町 2353-1 市辺コミュニティセンター内 〈IP・FAX〉 050-8034-0203 〈e-mail〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 谷 正和	会員数	80名
会議・組織	役員会 7名(会長・副会長3名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会 29名(役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部部長) 専門部会 6部会 まちづくり委員 63名 市福みらい会議 座長		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金:1,427千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料:17,317千円/その他:2,336千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち市辺」年3回発行、全戸配布 〈主な内容〉 各部活動紹介及びトピックス ・わが家の『ペット』紹介など コミセン広報誌 「市辺だより」毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 〈主な内容〉 事業開催の案内・各種活動の紹介などとイベントは号外を発行		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで PR できること	<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の事業計画に基づき、役員会、運営委員会を開催。また、自治会連合会等各種団体とも連携し、大きなイベントは実行委員会を組織し進めている。</li> </ul> <p>○減災活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治連、自主防災組織、民生委員、地区社協の参加により「減災連絡会議」を3回開催。『指定避難所レイアウト図』を作成。より具体的な取り組みを進める。</li> <li>新コミセン竣工記念として『減災かるた冊子』を全戸配布</li> </ul> <p>○地域福祉活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市辺の福祉を考える“市福みらい会議”」を定期的<sup>いっしょく</sup>に開催し、いっしょくレコードカフェを実施</li> </ul> <p>○蒲生野・万葉の歴史的文化的価値を広く伝える活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『蒲生野・万葉ロマンの会』に積極的に参画し、万葉や蒲生野にかかわる素晴らしい歴史文化をはじめ万葉ゆかりの地として広く発信していく取り組みを進めている。今年度は、講演会開催と奈良の犬養万葉記念館や万葉文化館への県外研修会を実施</li> </ul> <p>○まちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化部 れきし発見塾開講(8/17 3/8)。布施山縦走コース整備 「市辺地区鳥瞰図」を作成。第11回蒲生野万葉短歌会開催</li> <li>自然環境部 まちづくり農園で園児を招き、さつまいもの収穫体験開催 コンポスト事業の啓発と展示(わくわくこらぼ村、ふれあいフェスタ)</li> <li>健康福祉部 グランドゴルフ「第5回まち協会長杯」(11/13)開催 63名参加 講演会(1/29)「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」開催</li> <li>減災安全安心部 防災減災啓発放送(毎月1日)。減災かるた出前授業(布小、西小) わくわくこらぼ村にてワークショップ参加(2/21)</li> <li>地域活力部 万葉の森 船岡山除草作業 ふれあいフェスタや蒲生野・万葉フェスタのステージ設営など。</li> <li>子ども健全育成部 ふれあいフェスタで「射的」ゲーム開催。万葉フェスタ会場で鳥などとのふれあいや鷹匠体験を開催。「いちのべ いきいき塾」に参画</li> </ul>		

# まちづくり活動等の取り組み紹介

## 減災連絡会議&減災塾

「指定避難所レイアウト図」



## 自然環境部

まちづくり農園  
園児「いも掘り」体験



コンポスト紹介  
わくわくこらぼ村



市辺ふれあいフェスタ

## 歴史文化部

市辺地区鳥瞰図 作成



市辺れきし発見塾 講演会



蒲生野万葉短歌会



## 減災・安全安心部（減災カルタによる啓発活動）

減災カルタ大会  
わくわくこらぼ村



市辺ふれあいフェスタ 「布引小・西小」 減災カルタ出前授業

## 地域活力部

蒲生野万葉フェスタの開催



## 子ども健全育成部

「射的ゲーム」  
市辺ふれあいフェスタ



蒲生野万葉フェスタ



## 健康福祉部

GG大会「まち協会長杯」



「健康・福祉講演会」



市辺ふれあいフェスタ



減災かるた冊子の  
全戸配布

新コミセン竣工記念



## ● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【令和7年度】

設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-22-6479 〈IP〉050-8034-6479 〈FAX〉0748-22-6479 〈e-mail〉tamao-k@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 川越 慶次郎	会員数	54名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会 会長、副会長5名(1名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長(コミセン館長兼務)、会計、会計監事2名、顧問</li> <li>・ハートフル玉緒自主防犯隊112名</li> <li>・運営委員会 役員、専門部代表者等16名</li> <li>・専門部会 広報部、環境整備部、歴史文化部、健康スポーツ部、福祉部、子ども健全育成部、企画部</li> </ul>		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金：1,583千円 〈特別会計〉コミセン指定管理料：15,296千円 その他収入：920千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの情報誌「ハートフル玉緒」カラー版 年3回発行</li> <li>その他の月は2色刷りを発行 発行部数1,300部</li> <li>まちづくり協議会活動報告 地域の文化 教育 歴史等を紹介</li> </ul>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	〈まちづくり協議会活動〉 <ol style="list-style-type: none"> <li>① コミセンの指定管理に伴う、運営管理を行う。</li> <li>② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(桜まつり・秋のスポーツまつり・市民文化祭)の企画から運営を行っている。</li> <li>③ ハートフル玉緒自主防犯隊による地域パトロールの実施(毎週 火、木) 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心のために青色パトカーによる巡回を実施。</li> </ol> 〈部会活動〉 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広報部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINEで情報発信</li> <li>② 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山保育・里山体験授業の支援</li> <li>③ 歴史文化部 遺跡・歴史伝統文化の保存継承</li> <li>④ 福祉部 年間10回 手作り給食自宅訪問配布</li> <li>⑤ 子ども健全育成部 こども体験学習の支援</li> <li>⑥ 企画部 各種事業の運営方法・企画案を提言</li> <li>⑦ 健康スポーツ部 秋のスポーツまつりを運営</li> </ol> 〈全体事業〉 桜まつり、夜桜ライトアップ、婚活支援活動、ハートフルコンサート		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



桜まつり（4月）



総会（5月）



寄せ植え教室（5月）



こども体験事業（4、6、7、10、12、3月）



人権学習（8月）



生き生きセミナー（6、7、10、11、1月）



秋のスポーツまつり（9月）



墨流し染め体験（10月）



ぬのびき学級館外研修（11月）



文化祭（11月）



里山体験学習（11月）



婚活パーティー（11月）



ハートフルコンサート（12月）



節分交通安全教室（2月）



青パト巡回（通年週2回）

## ● 御園地区まちづくり協議会

【令和7年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日(当初)	平成18年10月30日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市五智町351番地2 御園コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0503 〈IP〉050-8034-0503 〈e-mail〉misono-c@e-omi.ne.jp (御園コミュニティセンター)		
代表者	会長 小椋 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6人(会長、副会長、事務局長、会計、会計監事2名) 運営委員会 17人(役員、自治会正副会長、企画委員) 企画委員会 11人(会長、副会長、事務局長、企画委員) まちづくり会議 (自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など) 会議: 総会1回、運営委員会4回、企画委員会8回、まちづくり会議1回 活動: 防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、 健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金: 1,999千円/その他: 9千円 〈特別会計〉コミセン指定管理料: 15,800千円/その他: 421千円		
情報紙の発行	広報誌【まち協みその】A4版4~8ページ 毎月発行 発行部数 2,200部/回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行 主な内容: まち協、自治連、各種団体、ボランティアグループ、コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など。		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり活動 2030年までのまちづくり計画を作成。御園地区で大切にしたい事を次の5つの基本方針として取り組んでいます。            1) 健康: 健康で楽しいまちづくり            2) 子ども: 子供を軸に共に学び育つまちづくり            3) 高齢者: 生き生きと暮らせるまちづくり            4) 防犯・防災: 安心して暮らせるまちづくり            5) 交流: 交流でにぎわいあふれるまちづくり</li> <li>やりたいこと、できることで活躍できる地域となるよう関係者間のネットワーク構築を進めており、また地域のふれあいを促進するため大きなイベントとして健康フェスティバル、秋まつりを行っています。イベント運営を以前の自治会中心からボランティア中心に変え、多くの団体、個人に参加いただきそれぞれが協同、連携してイベントを盛り上げて頂いています。 防犯のまちづくりでは、青パトで週2回地域全体をパトロールしています。今年度は軽トラックに防犯表示をしてパトロールするトラパト隊が県の防犯表彰で金賞を頂きました。</li> <li>・組織運営 御園地区まちづくり会議を開催、地域で活動するすべての団体が集まり、活動の共有や意見交換をする全体会議として、テーマごとに役割分担や協働について意見交換を行うことで良いコラボレーションが生まれています。</li> <li>・指定管理 まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。</li> </ul>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 御園地区まちづくりの推進

御園地区まちづくり会議の開催



令和8年2月23日(祝)地区内の活動団体の連携を促進するため「御園地区まちづくり計画」に沿ったまちづくりの会議を開催

2 自治連との連携

自治会連合会の研修会を開催



令和8年3月8日(日)「避難行動要支援者の個別避難計画の作成と地域ぐるみの支援」についての合同研修会を開催

3 広報誌活動の向上



広報誌「みその」を発行。自治連、まち協、各種団体、コミセンの事業を紹介。SNS発信。

**SNS始めました!**

【御園地区まちづくり協議会&コミセン】の公式Facebook(フェイスブック)とLINE(ライン)を  
知りました。ぜひ、登録をお願いします。

facebook

Facebook を使っておられる方は... QRコードを読み取るアプリを使ってFacebookのアカウントのQRコードを読み取り、左側のウェブをタップして「御園地区まちづくり協議会&コミセン」をフォローしてください。

LINE@

LINE を使っていない方は... LINEのホーム画面の右上の「友達追加」からQRコードを読み取り、LINEのQRコードを読み取る「御園地区まちづくり協議会&コミセン」がアップされるので登録をお願いします。

新しい情報をいち早く、どんなに届けていきます!

お問い合わせ先  
御園地区まちづくり協議会  
TEL: FAX: 22-0503  
E: 090-9934-0109

4 まちづくり懇談会



令和7年11月25日(火) まち協、自治連、市役所が合同で地域課題を話し合う場として毎年一回開催しています。

5 健康寿命を延ばす活動



8月21日(木) お口の健康、お口の中の困りごとを解決する講座を開催



令和4年から毎月1回「健康なからだづくりの連続講座」を開催



- ・6月8日(日)「かきみそのCIAOの電車でお出かけパート8アニメの聖地を訪ねてみよう!」を実施
- ・9月21日(日)「かきみそのCIAOのことも防災体験～いのちを守る方法をまなぼう!」を実施
- ・12月7日(日)「かきみそのCIAOのクリスマス2025」を実施

6 子ども体験・交流事業



4月7日(月)・7月28日(月)・1月6日(火) 外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語を学ぶ学習支援として、「マナビーみその」を開催

7 防犯のまちづくり事業の推進



10月22日(水)、御園小学校で避難訓練が実施され、青バト隊の隊長が参加されました



11月15日(土)、令和7年「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり大賞を受賞

8 子どもを支える活動の推進



6月30日(月)「花とみどり」のサークルさんとじゃがいも掘を実施

9 地域ふれあい事業



10月13日(日)みその健康フェスティバルを開催

4月2日(水)御園地区サクラまつりを開催



## ● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン) 『支え合い、助け合いの郷づくり』

【令和7年度】

設立日	平成 18 年 2 月 25 日	認定日 (当初)	平成 18 年 3 月 2 日
コミセン 指定管理開始日	平成 23 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町 31 番地 建部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP〉 050-5801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 福井 好信	会員数	個人会員 42 名、団体会員 10 団体
会議・組織	評議委員会 18 名 (自治会長) 運営委員会 15 名 (地域団体代表者、まち協役員) 役員会 16 名 (会長、副会長 3 名、事務局長、会計、部会長 4 名、 コミセン館長代理、地域担当職員 6 名) 専門部会 4 部会 (環境美化、歴史文化、健康福祉、広報企画) 会員の範囲 (建部地区に居住する全住民で構成) ・個人会員 (本会の趣旨に賛同し、参加する個人) 42 名 ・団体会員 (自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体) 10 団体		
予算等の概要	〈一般会計〉 2,000 千円 (まちづくり総合交付金 1,222 千円、自治会連合会助成金 100 千円、 繰越金 74 千円、基金繰入金 303 千円、その他 301 千円) 〈特別会計〉 18,935 千円 (コミセン指定管理料 15,665 千円、繰越金 3,231 千円、 その他 39 千円)		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月発行 (年 12 回) A4 版 4 頁 (カラー) 発行部数 1,000 部/回 まち協の広報誌「建部キラリ」を年 4 回発行 A4 版 4 頁 (カラー) 発行部数 1,300 部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	1 まち協役員会および推進体制 ① 役員会は 11 名で構成します。 役員会には地域担当職員 6 名が交代で参加します。 ② 役員会の活性化 役員会を毎月第 2 火曜日に開催します。議論を活発化させ、効率良く行う ため、会議資料を充実させています。 2 自治連、各地域団体との連携 ① 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治会連合会 との連携を深めています。 ② まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、 全自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。 ③ 10 の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議しま す。 3 定期総会を 5 月 20 日に集会形式で開催しました。 4 コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 ① 指定管理の開始から 15 年目を迎え、地域住民の身近な施設として、 また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営 を目指して取り組んでいます。 ② 月 1 回のコミセンかふえを開催し、地域の居場所づくりを提供 ③ 年 2 回のエコっこでは、リユース・サイクル事業に取り組んでいます。		

## まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 建部里まつりの開催

河辺いきものの森で「建部里まつり」を開催し、親子連れら多くの人で賑わいました。木のジャングルジム・シャボン玉遊び・体験コーナー・森でのランチやカフェ等を催しました。参加者約700名（6月1日）



建部里まつり

### 2 環境美化事業への取り組み

- ①植栽箇所およびポケットパークの草刈作業を年2回実施しました。（6月21日、10月25日）
- ②愛知川左岸堤防のごみ拾いを実施しました。（12月1日）
- ③遊休畑を活用しさつまいもを植え、秋にさつまいもを収穫し、町民祭の「ちょこっとおすそわけ」に出しました。



環境美化活動

### 3 歴史文化事業への取り組み

- ①瓦屋寺プロジェクト参道整備事業の事後整備活動を行いました。（6月21日、10月25日）
- ②歴史講座とし建部スポーツ協会との共催で「たてべふるさとウォーク」として建部コミセン→御代参街道→五個荘コミセン→中山道の約7kmを歩きました。途中、五個荘コミセンで御代参街道・中山道の資料説明を受けました。（9月27日）
- ③歴史探訪として次期大河ドラマの「豊臣兄弟」の主人公である秀長が城主を務めた「大和郡山城跡」を訪ねました。（11月16日）



たてべふるさとウォーク

### 4 健康福祉事業への取組み

- ①子ども見守り活動の一環として、毎月2回、4カ所で、まち協会員による交通立番を行っています。（4月～2月）
- ②チャリティゴルフ大会を開催し、チャリティ募金を建部青少年育成会に寄附しました。（5月27日）
- ③健康講座を3回開催しました。（7月9日、9月24日、10月21日）



スポーツレクリエーション祭

### 5 広報活動への取り組み

- ①コミセン・まち協・各地域団体の広報誌として、「建部だより」を毎月発行しています。12回/年度
- ②建部の良さをPRするため、広報誌「建部キラリ」を発行しています。4回/年度



建部町民祭

### 6 まちづくり活動の裾野を広げるための取り組み

- ①e-スポーツ大会を建部スポーツ協会との共催で行いました。（8月2日）
- ②わくわくこらぼ村へ参加しました。
- ③親子梨狩り・イチゴ狩りを実施しました。



いきいき子ども塾

### 7 東近江市内の建部幼稚園・八日市北小学校・聖徳中学校・滋賀学園・八日市高校・八日市南高校との連携を強化する活動を進めています。

### 8 スポーツレクリエーション祭（10月12日）、町民祭（11月10日）を実行委員会形式で開催しました。

### 9 「建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター」公式LINEの登録者数拡大と活用を進めています。現在の登録者数は、約760名です。

### 10 コミュニティセンター事業への参加協力を推進して、多くの住民さんとの関わりを持てるように、コミセン職員と共に各事業（寄来処・いきいき子ども塾・コミセンかふえ）を推し進めています。



コミセンかふえ

## ● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) なかのよいまち

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかのよいまち』

【令和7年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市中野町781番地5 中野コミュニティセンター内          〈電話番号・FAX〉 0748-22-0154 〈IP〉 050-5802-2311          〈e-mail〉 nakano-c@e-omi.ne.jp (中野コミュニティセンター)</p>		
代表者	会長 廣田 博文	会員数	地区内全住民
会議・組織	<p>○組織 まち協役員 24名(会長、副会長、事務局長、幹事、会計、会計監事)          運営委員 約24~30名程度(会長、副会長、事務局長、幹事、会計、          自治会連合会3役、各種PJ代表、地域担当職員 等)</p> <p>○まちづくり委員 約50名(自治会選出、公募委員)</p> <p>○会議(総会・運営委員会・円卓会議・各種プロジェクト)</p> <p>○プロジェクト まちあるき・歴史探訪・山と川保全推進・50年森整備事業・広報委員会・          地域福祉を進める・命のバトン普及事業・婚活事業・地域交流型マルシエ(も          ろて~な市)・西広場整備事業・子どもの居場所づくり事業食堂(子ども食堂          「なかのごはん」「夜カフェ」)・里山保育事業・近江鉄道駅舎周辺装飾事業          (太郎坊宮前駅・天狗の像設置構想) 等</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金:1,747千円/その他:753千円          〈特別会計〉コミセン指定管理料:15,861千円/その他:839千円</p>		
情報紙の発行	<p>中野地区まちづくり協議会広報誌(なかのよいまち)A4版フルカラー4ページ          年4回(6・9・12・3月)発行、発行部数3,500部/回          〈主な内容〉まち協事業、コミセン事業、関連団体事業、まち協総会報告、地域に身          近でホットなニュース(サークル紹介)の掲載 等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>中野地区の総合的なまちづくりを目指して、毎月7日開催の「円卓会議」で語り          合う場を大切にしています。本協議会のテーマである「みんなでつくるなかのよい          まち」実現に向け、地域福祉の充実も目指し地区社協と第2層協議体(なかのよい          まち推進会議)の運営や活動に力を注ぎ、自治会連合会や各自治会選出のまちづく          り委員、各種団体、福祉団体と連携した、「なかのよいまち大en会」や「なかの福          祉のまちづくり座談会」を随時、共催開催するなど、協働のまちづくりを展開して          います。</p> <p>整備を続けている50年森においては、「第4回ありがとう50年森フェスタ」を          本年度も開催し、「ステージショー・ワークショップ・森の体験・マルシエコーナ          ー・キッチンカー」等に地区内外から多くの住民の来場者を得、好評でした。</p> <p>西広場では整備事業の一環として「紫陽花の捕植(随時)・藤棚の設置や除草作          業」を引き続き行い、広場全体が地域住民の「憩いの場」となるよう、自治会連合          会と共に管理を進めています。またグラウンドにおいては、地区内小学生や近隣の          放課後児童クラブの子供たちの遊び場として、広く利用されているところです。</p> <p>他には、子どもの居場所づくりとして「なかのごはん(子ども食堂)・夜カフェ」          の定例開催、地域交流として「もろて~な市」の開催、「わくわくこぼろ村」の参画          等、地域福祉の向上や、活性化に向けて様々な活動を行ってきたところです。</p>		

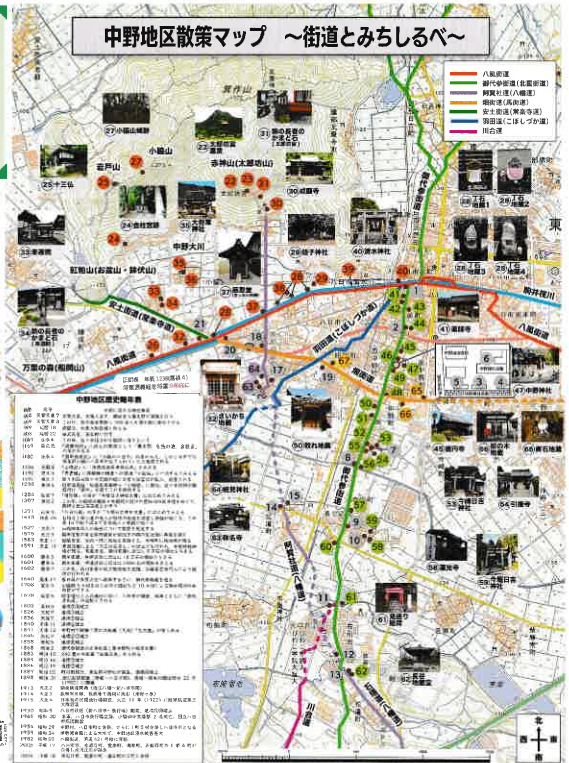
中野地区まちづくり協議会からのご案内

毎月7日は円卓会議を開催しています。

毎月7日は、中野コミュニティセンターで中野地区のまちづくりや課題について、誰もが自由に意見を出し合う円卓会議を開催しています。中野地区のご意見や提案がある人はもちろん、どんな話もご興味をお持ちの方は是非ともご参加ください。  
毎月7日、午後7時30分から開催しています。【場所：中野コミュニティセンター】



中野地区まちづくり協議会では、毎月7日に開催している「円卓会議」で語り合う場を大切にしています。円卓会議で新しいプロジェクト・イベント・人材が次々と出てきます。中野地区まちづくり協議会の新しいプロジェクト、活力、人材発掘力はこの円卓会議で生み出されることが多いです。



**顔みてしゃべって おすわけもろて~な市**

日時 12月7日(日) 10:00~11:15  
場所 中野コミュニティセンター 館内  
募集品目 学校用品、野菜、米、ご家庭で眠っているモノ など

おすわけのルール  
1. 顔を見てお話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

おすわけのルール  
1. お話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

おすわけのルール  
1. お話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

おすわけのルール  
1. お話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

**障害者支援施設あかね**  
目玉商品抽選会  
おすわけ掲示板

おすわけのルール  
1. お話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

おすわけのルール  
1. お話を聞いてもらう  
2. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る  
3. お話を聞いてもらうことで、おすわけのきっかけを作る

**ありがとう 50年森フェスタ**

2025年 11月23日(日) 10:00-14:00  
会場 中野コミュニティセンター

お楽しみ会  
お楽しみ会  
お楽しみ会

お楽しみ会  
お楽しみ会  
お楽しみ会

お楽しみ会  
お楽しみ会  
お楽しみ会

お楽しみ会  
お楽しみ会  
お楽しみ会

**キッチンカーがくるよ**

キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ

キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ

キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ  
キッチンカーがくるよ

**なかのごはん**

なかのごはん  
なかのごはん  
なかのごはん

なかのごはん  
なかのごはん  
なかのごはん

なかのごはん  
なかのごはん  
なかのごはん

**夜カフェ**

夜カフェ  
夜カフェ  
夜カフェ

夜カフェ  
夜カフェ  
夜カフェ

夜カフェ  
夜カフェ  
夜カフェ

## ● 八日市地区まちづくり協議会

【令和7年度】

設立日	平成 18 年 12 月 2 日	認定日（当初）	平成 18 年 12 月 5 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市八日市町 9-20 八日市コミュニティセンター内          〈TEL・FAX〉 0748-23-4120          〈IP〉 050-8034-1141          〈e-mail〉 8comi920@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 www.8comi920.online</p> 		
	  		
代表者	会長 浦根 悦夫	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回（代表、副代表2人、常任理事4人、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員）          理事会 年2月回（総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会11人、会員より3人、広報委員2人、地域担当職員）          広報委員会 年4回（編集委員長1人、委員11人）          プロジェクト：延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化、まち鉄</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金：1,461千円          〈特別会計〉コミセン指定管理料：18,251千円          〈その他収入〉3,760千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2,400部/回          主な内容：まち協の総会の報告、日常の活動報告、各プロジェクトの活動報告、自治会や地域の話題</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>令和8年2月21日に能登川コミュニティセンターで開催されたわくわくこらぼ村に出展しました。わくわくこらぼ村では八日市ふるさと絵屏風を基に、市民の皆さんから公募した読み札と絵屏風から作った絵札のカルタを使い、来場された方々に絵屏風カルタを楽しんでもらいました。併せて、初めての試みとして、八日市地区のいろいろなお店や知られていないスポットなどをInstagramに発信して下さるメンバーを募集しました。</p> <p>まちづくり協議会のプロジェクトの一つである防災プロジェクトでは、初めて広報紙を発行しました。地震や台風、大雨などの発生に備えるには、日頃からの備えが大切です。八日市地区在住者に対して「防災だより」を全戸配布しました。</p> <p>八日市つながりプロジェクトでは、八日市コミュニティセンターで毎月8日に「はちのひカフェ」を開催し、八日市地区住民の憩いの場として親しまれた活動となっています。</p>		



## ● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和7年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市沖野二丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP〉050-8034-1573 〈e-mail〉nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 中江 靖浩	会員数	78名
会議・組織	役員会5名(会長、副会長2名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会15名(役員、専門部会長、館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長、各種団体長) 拡大運営委員会(運営委員全員) 専門部(4部) まちづくり会議 会員(趣旨に賛同する個人、自治会推薦者、自治会長 各種団体長、他)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,636千円/その他:733千円 <特別会計>コミセン指定管理料:16,286千円/その他:1,980千円		
情報の発信	1 情報誌 まち協会員向けA4両面版広報紙「ホットニュース」毎月25日発行・南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行に実施事業案内及び地区内外の情報提供 2 公式LINE・ホームページによる事業や部会活動等の情報発信		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	まちづくり協議会の活動(第3次まちづくりビジョン) 1 地域住民間の交流と連帯 地域住民間の親睦や交流を図り、コミュニティづくりを進める。 ○南部まつり(6月)の協賛・南部みんなの秋まつり(11月)の実施 ○地域住民福祉活動計画の一環「ほっとまちカフェ」の運営(毎月7日) みんなの居場所づくり「コンピス」の推進(毎週火曜日) ○地域学校協働本部事業との連携「みなみっこがくしゅう会の実施」 ○南部ふれあいフリーマーケットの開催(6月、10月、3月) 2 地域問題の解決と住み良い環境づくり 安心・安全なまちづくり、住みよい環境づくりを進める。 ○再資源可能物(リサイクル品の回収) ○休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める。 ○交通安全運動(交通安全立ち番 月2回)子ども達への挨拶運動 ○地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ○命のバトンの配布事業 ○「防災を考える会」の開催(7月、11月、2月) 3 コミュニティセンターの管理運営 コミュニティセンターを核としたまちづくりを進める。		

## まちづくり活動等の主な取り組み紹介

「第3次まちづくり計画」の推進（まちづくりのビジョンの推進と展開を図る）

- 出会いの場の創出
- まち協の魅力の発信
- 南部地区のランドマーク
- まちづくりプラットフォーム

### 1 コミュニティセンターの運営管理

- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理
- ・各種コミセン事業（講座）の充実  
青少年の講座 成人及び高齢者講座の実施



陶芸教室



健康講座



みんなの居場所  
「コンピス」

### 2 少子高齢化時代に役立つ地域づくり

- ・南部未来会議（※南部地区住民福祉活動計画協賛）  
参画 「集いの場」づくり

### 3 住みよいまちづくりの推進

- ・資源ごみの分別収集、環境意識の向上
- ・美化・交通安全活動の継続展開
- ・子ども森、八日市南小学校芝生の維持管理活動
- ・「南部地区、防災を考える会」研修会の実施



夏の「子ども森」



聖徳中での災害  
図上訓練 DIG 研修

### 4 学びや趣味を生かせる場

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・ふれあい農園での「いもほり・焼きいも」体験
- ・「みなみっこがくしゅう会」長期休業中2日  
学習支援活動の実施
- ・粋生サロン、小物づくり（文化祭での作品展示）



みなみっこがくしゅう会

### 5 まちづくりビジョンの推進

- ・「まちづくり会議（1回/月）」開催
- ・研修会の実施
- 「持続可能なまちづくりの  
取り組み」



栗東市「はしりファーム」



## ● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和7年度】

設立日	平成17年9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市山上町1316番地 永源寺コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-27-1060 〈IP〉050-5802-9336 〈FAX〉0748-27-1974 〈e-mail〉e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 福井 均	会員数	約70名
会議・組織	・運営委員会(三役、監事、部会長、各種団体長、会長が指名した者) …年間5回開催 ・三役会(会長、副会長、事務局長) …随時開催 ・三役部会長会 …随時開催 ・専門部会(6部会) …随時開催		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金:2,977千円 〈特別会計〉コミセン指定管理料:35,011千円 〈その他〉4,223千円		
情報紙発行	e-NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー (現在:No.125) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ他) e-NET6500(情報版) 毎月発行 A4/4頁 白黒 (現在:No.250) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ、Facebookの随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域に活力を生み出す、そんなまちづくりを目指しています。</p> <p>改定された「まちづくり計画」に基づき、『生まれて良かった・来て良かった・住んで良かった永源寺』を目標に掲げ、事業活動に取り組みました。</p> <p><b>○地域の良さを再確認し、継承していく取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千草街道を往く</li> <li>・大本山永源寺ライトアップ</li> <li>・東近江のいいところ発見!地域探訪事業</li> </ul> <p><b>○環境にやさしいまちづくりへの取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみのリサイクル活動 (ペットボトルキャップ、アルミ缶プルトップの回収及び不用品譲渡会の実施)</li> <li>・大型金属資源回収(東部、中部、西部の3地域の会場で実施)</li> </ul> <p><b>○情報紙などを通じて地域連携を深め、地域間交流の推進を図る取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの夏休み</li> <li>・みんなのふるさと祭り</li> <li>・まちづくりフォーラム</li> <li>・永源寺みらい会議 ※少しでも多くの住民みんなが参加出来る事業活動を行なうことにより、地域の良さをみんなで共有し、移住および定住いただけるような「まちづくり」が出来るようにと考え、取り組んでいます。</li> </ul>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- ・永源寺地区の5年後10年後に向けた課題を、自治会や各種団体と共有し、話し合い、住民のためや地域のために活動出来るよう「永源寺みらい会議」を継続開催しています。
- また、平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン講座の充実に向けた事業と連携して、まちづくりに取り組んでいます。

## 令和7年度 永源寺地区まちづくり協議会 画像によるメイン事業紹介

【春】 わがまち探訪フィールドワーク「千草街道を往く」（4月27日）



杉峠で恒例の記念写真

三重県 菰野町朝明に到着「完歩達成」

県境 根の平峠にて

【夏】 みんなの夏休み2025（7月26日）



ステージでは生バンド演奏やお楽しみ抽選会

人気のちびっ子広場

フィナーレの打ち上げ花火

各種バザーも大好評

ショベルカーの運転体験

【秋】 大本山永源寺ライトアップ事業（11月14日～29日）



ともしびミニライブ（22日）

ライトアップされた境内と参道






ライブ終了 皆さんお疲れ様でした

## ● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和7年度】

設立日	平成 18 年 3 月 18 日	認定日 (当初)	平成 18 年 3 月 23 日
コミセン 指定管理開始日	平成 25 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町 318 番地 五個荘コミュニティセンター内          〈電話番号〉 0748-48-7303 〈IP〉 050-5801-7303          〈FAX〉 0748-48-6454 〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp</p> <p>  ホームページ            Facebook   LINE  </p>		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 6 人 (会長、副会長、事務局長、館長)          運営委員会 20 人 (役員、相談役、各事業部正副部長、有識者)          事業部会 安心・安全部会 9 人、環境部会 14 人          歴史・文化部会 11 人、地域福祉部会 16 人、情報誌部会 7 人          自治会推薦まち協推進員 45 人          地域担当職員 9 人、地域イベント協力隊 87 人          構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉 まちづくり総合交付金 2,906 千円 / その他 2,394 千円          〈特別会計〉 コミセン指定管理料 33,011 千円 / その他 4,489 千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行          発行部数 4,000 部 / 回          〈主な内容〉 特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>令和7年度は、以下3点を重点課題とし、まちづくり協議会の基本方針としています。          まちづくり協議会は、五個荘コミュニティセンターを「結節点」として、地域の特性に          応じ各種事業を通じてすべての人に「居場所」と「出番」を創出するとともに、地区内          各種団体と協働して「つどう・つなぐ・交わり合う」のさらなる推進を図ります。</p> <p>1 ふれあい事業          地区内各種団体や地区内企業・事業所など多様な主体が交じり合い、これまでの実          施手法にこだわらない「ふれあい事業」を展開し、交流の機会を創出することで、地          域に対する愛着の高揚を図ると共に、住民同士の絆を深めました。</p> <p>2 地域魅力発信プロジェクト          令和6年度から立ち上げたイエロープロジェクトも農地耕作者の理解とご協力をい          ただいたうえて、先ずは試行段階と位置付け、一部の関係者間で作業を行いました。          桜の開花と同時期に畑一面が菜の花で黄色に染まり、新幹線をバックに写真撮影など          多くの方々が楽しめました。2年目となる令和7年度は、プロジェクトメンバーの          拡大を図り地域魅力の発信を推進しました。</p> <p>3 五個荘地区の歴史と文化の共有          五個荘地区まちづくり協議会は、令和8年度に設立 20 周年を迎えます。          20 周年を契機とし、改めて五個荘地区の深い歴史と文化を探り、それらに関わる          人材や文化財の紹介冊子を制作しています。令和7年度前半はさらなる原稿資料の収          集と整理を進め、後半以降は掲載する資料の著作権関係の合意を得ながら原稿の校正          を進めました。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆五個荘地区災害図上防災訓練  
(共催：五個荘地区自治会連合会、他)



◆イエロープロジェクト  
Dr.イエローと菜の花畑のコラボレーション



◆五個荘ごみゼロウォーク  
ごみ拾いをしながら  
郷土史研究会のガイドと中山道ウォーク



◆防災視察研修 [阪神・淡路大震災記念 人と防災 未来センター]  
(共催：五個荘地区自治会連合会)



◆五個荘地区文化財紹介冊子  
「東近江市五個荘の歴史」(制作中)



◆生ごみ減量化  
ダンボールコンポスト講習会開催(年2回)



◆大型金属資源回収(年3回)  
(延べ91人ボランティア参加・6.2t回収)



◆認知症・行方不明者  
早期発見 保護訓練



◆「てんびんの里  
ふれあい広場・桜まつり」



◆情報誌「GO!まち協」発行  
偶数月 年6回発行



◆歌声喫茶「ピーちくパーク」  
毎月第3土曜日開催



◆東近江トレイル実行委員会

「ダモンテトレイル視察研修」  
(愛知県新城市)



◆コミュニティセンター事業

エコマルシェ



てんびんわくわく体験塾  
「休みお弁当作り講座」



ヨシ灯り作り講座



「箕作山トレイルルート整備」



クリスマスイブコンサート



はつらつてんびん塾  
(押し花カレンダー作り)



ロビー展示  
「みんなのひな祭り展」



## ● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園(まち) ネット

(テーマ) このまちに住んでいる人や関わっている人が、もっと愛東を好きに！

【令和7年度】

設立日	平成 17 年 5 月 21 日	認定日(当初)	平成 17 年 7 月 21 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市下中野町 431 番地 愛東コミュニティセンター内 <電話番号> 0749-46-2270 <IP> 050-5802-8614 <FAX> 0749-46-2270 <e-mail> machinet@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://members.e-omi.ne.jp/machiitet		
代表者	会長 奥村 清和	会員数	84 名
会議・組織	役員会・運営委員会・評議員会 専門部会 広報部・防災部・地域ふれあい部・花づくり部 福祉プロジェクト・愛のまち交流プロジェクト あいとう元気なまちづくりプロジェクト・映画のまちプロジェクト		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：2,615 千円 <特別会計> コミセン指定管理料：29,641 千円 <その他収入> 2,242 千円		
情報紙の発行	元気なまちづくり情報誌 愛の田園だより A4版カラー印刷8ページ 毎月発行 発行部数 1,400部/回 主な内容 表紙(イベント及び活動等の写真)・地域の話題・愛東支所からのお知らせ・ こんにちはいとうとしょかんです・み~つけた!・あいとう菜花の会俳句・ イベント案内・コミセン行事・編集あれこれ等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	愛東地区まちづくり協議会は、愛東コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、まちづくり活動、交流の場づくり等を行いました。 まちづくり三者合同会議(まちづくり協議会・自治連合会・支所)で、地区課題等について話し合いを行いました。 「安心して暮らせるまちづくり」、「地域住民間の交流の場づくり」、「個性あるまちづくり」を8つの部会(プロジェクト)で活動を行いました。 愛東コミュニティセンターは、まちづくり三本柱(地域づくり：あいとうの個性をつくる・生涯学習：生きがいをもつ・地域福祉：コミュニティをつくる)を運営方針に教室、講座、催し物等を行いました。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 コミュニティセンターの指定管理業務

2 まちづくり活動

○安心して暮らせるまちづくり

・防災部

命のバール点検、夏まつりでの防災啓発、愛東气象台よる防災予報等

・福祉プロジェクト

命のバトンの取組み、学生カフェF I K Aの支援等

○地域住民間の交流の場づくり

・地域ふれあい部

夏まつり及び秋フェスタの開催、出前サンタ、イルミネーション設置等

○個性あるまちづくり

・花づくり部

あいとう花街道づくり活動、プランター設置、ハイプランターポイントアピール等

・愛のまち交流プロジェクト

北海道愛別町きのご祭り参加、愛のまち子ども交流、バレンタインカード作成等

・あいとう元気なまちづくりプロジェクト

ここだけマルシェ及びパンフェスタの開催等

・映画のまちプロジェクト

映画ガチャコン！4の制作等



## ● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東 あえるまち湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの わくわく あったか湖東時間



【令和7年度】

設立日	平成17年7月14日	認定日(当初)	平成17年9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町 495 番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP〉 050-5802-3393 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内全住民・勤務者が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、三役会、部会・PJ会議 部会：福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会 湖東企画部会、(コミュニティセンター) プロジェクト：湖東歴史文化PJ、子育て支援PJ、福結びPJ、 音楽を聴こうPJ、映画製作PJ、シェアサロンPJ、アートPJ		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金 3,868 千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料 34,725 千円 〈その他収入〉 1,020 千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」毎月1回発行 A4版4面 発行部数 2,700 部/月 コミュニティセンターと共同編集 〈主な内容〉 表紙には地域のトピックや季節の写真、まち協や各団体の活動 紹介や行事予定、暮らしや地域の情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>◎ 湖東のお宝さがし</p> <p>福祉部会が中心となって、地域の中にある何気ない集いの場を取材。毎月の広報誌において、地区のお宝として紹介しています。サロンや趣味の集まりなど、地域の仲間と楽しい時間を過ごせる日常の集いの場を、たくさん作っていきたくと考えています！</p> <p>◎ アートプロジェクト始動！</p> <p>新たに誕生したプロジェクト。地域の子どもたちや大人に、アートに親しんで、楽しさを知ってもらおう活動を行います。今年度は「干支の絵を描く」体験(写真右)や、日展の見学などをしました。身近にアートと触れ合って、生活がより豊かになることをめざします！</p> <p>◎ 防災力向上のために</p> <p>防災部会が主導する「湖東地区防災ネットワーク」において、倒壊家屋からの負傷者救出・搬送の研修と訓練が行われました。参加したのは、各自治会の自主防災担当者と、消防団員。今後も災害への備えを高めることを目的にこの研修を毎年継続していきます！</p>		



言うてみなはれ

聴いてみなはれ



# 夢・YUME 大発表会



夢・YUME 大発表会!  
～言うてみなはれ 聴いてみなはれ～

「夢を語れば、夢がかなう(かも)」を合言葉に、今年度から始まったこの企画。4名の勇者が自分たちの「こうなったらいいな」を発表してくれました。「女性の長や役員がもっと増えたらいい」「認知症になっても安心して暮らせるまちになってほしい」「障がい者のことを気軽に相談できる場があったらいいな」「楽しい場所がいっぱいできてほしい」など、地域をより素晴らしくするための提案ばかり。賛同する仲間が集まれば、実現に向けて動き出します！ まち協では、今後もこの発表会を定期的に続けていく予定です。

湖東地区から生まれた  
音楽ユニット

「Voice & Feet」

(写真上)のライブコンサートも披露されました。

夢に向かって走り続ける小学6年生の2人に、惜しみない拍手が！



● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和7年度】

設立日	平成 19 年 3 月 10 日	認定日 (当初)	平成 19 年 3 月 13 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市躰光寺町 262 番 能登川コミュニティセンター内 〈IP〉 050-5802-2793 〈FAX〉 0748-42-1556 〈e-mail〉 notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事 (会長) 藤居正博	会員数	269 名
会議・組織			
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金 673.6 千円 〈特別会計〉 施設指定管理料 7,624.3 千円 (3施設) 合計 8,297.9 千円		
情報紙の発行	■まちな情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」9,000部/回(全戸配布) A4版6ページ(カラー4、モノクロ2)・隔月(偶数月) ■会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(340部会員他配布)		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	○在能登川小・中・高校と総合学習他、多方面な連携(その一部記載) ・JR能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中) ・「防災」「歴史・地理」「まちづくり」の総合的学習授業に講師として参画(小) ・「能」(曲目 田村)(中)・「びわ湖ホール声楽アンサンブル」公演に招待(小) ・Lighting Bell in NOTOGAWA イルミの飾り付けと模擬店運営に参画(高) ・能登川地区子ども芸術展を開催展示(こども園から中学校生の絵画・書他) ○夏休みこどもの居場所づくり事業に取組む(19日間、児童30名参加) ○地域医療発展を願う住民活動「能登川病院をよくする会」を支援 ○高齢者の居場所「レコード(ミニ)カフェ」活動を企画支援 ○未就学児と保護者、妊婦さんを対象とした「0歳からのコンサート」を実施 ○「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現へ8年経過 ○廃食油回収・段ボールコンポスト普及でサステナブルな環境活動実施 ○能登川地区文化協会文化公演会「映画&講演」、東近江笑いの会「落語会」に協賛 他、スポーツ協会等市民活動団体の事務局業務やその活動に支援や参画 ○「元気のつどい」等、健康長寿を目指した健康推進諸活動実施。婚活も注力 ○防災活動では「行動計画書」を44自治会で運用。7月には初めて「防災フェスタ」を 開催。南海トラフ地震対策として、耐震補強・家具転倒防止・家庭備蓄の3点啓発。 ○44年ぶり開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の会場で選手・関係者・来 場者へ「おもてなし」、SEA TO SUMMMITで「ふるまい」も実施 ○能登川コミュニティセンター現所在地移転10周年記念イベントを通年で実施 ○11月「まちづくり懇談会」を開催し、「JR能登川駅東口の活性化」で意見交換 ○能登川地区赤十字奉仕団や老人クラブ連合会による、やわらぎの郷公園清掃奉仕		

※2013年(平成25年)4月1日法人化 ※2015年(平成27年)11月20日現コミセン竣工式



## ● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和7年度】

設立日	平成 18 年 11 月 18 日	認定日 (当初)	平成 18 年 11 月 22 日
コミセン 指定管理開始日	平成 25 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町 461 番地 1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 <a href="http://www.gamoyume.org/">http://www.gamoyume.org/</a>		
代表者	会長 西村 純次	会員数	(R8.1.1 現在) 13,910 名
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 13 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 37 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・広報企画委員会 6 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 9 (専門部会) ・ひだまり部会 6 ・ふれあい交流部会 13 ・エコランド部会 5 (他にモニター 30) ・あかね部会 6 ・万葉ロマンの里づくり委員会 8 ・地域活性化部会 8 自治会まちづくり委員会 41 蒲生まちづくり会議 (県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、 コミセン、まち協 他)		
予算等の概要	〈一般会計〉 まちづくり総合交付金：4,589 千円 / その他：5,391 千円 〈特別会計〉 コミセン指定管理料：43,749 千円 / その他：3,251 千円		
情報紙の発行	蒲生まち協の広報紙「がまちょこ」 A4版4ページ 毎月 20 日 5,200 部発行		
指定管理や組織 運営、自治連や各 種団体との連携、 まちづくり活動 などで特にPR できること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業 等と連携しながら活動を展開している。 その上で、 1 自治連との連携強化 自治連・まち協合同研修会を開催 自治会まちづくり委員の役割を明確化し、自治会との連携を強化 2 蒲生まちづくり会議の開催 蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議、自治連、JA、 商工会、行政、医療センター、各種団体、コミュニティセンター、まちづくり協議会他が 情報共有、意見交換会を開催 3 2030 年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図るため、「(一社) がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている (食の六次産業化、着地型観光、援 農隊) 4 ガリ版伝承によるまちづくりの推進 ・大阪・関西万博でガリ版出展 ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 ・ガリ版伝承館管理運営業務委託 5 若者視点で蒲生を楽しむアイデアの見える化や若者を増やすことを目的とし「こども・若 者」の事業を推進		

## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 1 ・蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託  
・ガリ版伝承館管理運営業務を受託

### 2 《本部事業》

- ・「自治会連合会とまち協合同研修会」の実施
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「蒲生地区まちづくり懇談会」の開催
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
- ・「大型金属性資源回収事業」の実施
- ・「蒲生地区新年互礼会」の開催
- ・「若者によるまちづくり」との連携
- ・「おやこでどろりんびっく」の開催
- ・「ガリ版 100 の物語プロジェクト」の推進
- ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」
- ・地域担当職員、地域応援隊との連携
- ・蒲生医療センターへの協力支援
- ・視察の受け入れ（1 団体）
- ・「（一社）がもう夢工房」に参画
- ・「蒲生野夢あかり」（実行委員会での開催に参加）
- ・蒲生地区のイベント・事業に参加協力  
（蒲生あかね夏祭り（事務局担当）・蒲生いきいきあかねフェア）



【自治連・まち協合同研修会】



【おやこでどろりんびっく】



【除草作業とゴミ拾い】



【ガリ版で万博出展】



【あかね夏祭り】



【大型金属性資源回収】

### 《委員会活動》

#### (1) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・ホームページの更新

#### (2) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）

### 《部会活動》

#### (1) ひだまり部会

- ・「避難所運営ゲーム（HUG）」の実施
- ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業

#### (2) ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発
- ・健康相談・食生活相談・血圧測定等の実施
- ・「健康づくり講座」、「親子の栄養講座」の開催
- ・健（検）診啓発・抛り所創造事業へ参画

#### (3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポストの普及
- ・ゴーヤカーテンの設置 ・環境キャラバン隊
- ・市より生ゴミ減量化推進事業の受託

#### (4) あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり
- ・結婚活動支援
- ・子育て支援

#### (5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・広報紙がまチョコに「再発見 がもうの話」「蒲生の文化財」を連載
- ・歴史ウォークの開催（市子殿・市子川原）
- ・あいがもけんぶん塾（蒲生コミセンと協働で開催）に協力
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・「蒲生野・万葉ロマンの会」に参画 ・「（一社）がもう夢工房」と連携

#### (6) 地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理、収穫）
- ・コスモス栽培による見せる（魅せる）農業の実践
- ・蒲生スマートインター周辺活性化 ・「（一社）がもう夢工房」と連携



【避難所運営ゲーム】



【コンポスト講習】



【歴史ウォーク】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

# 東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。  
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。  
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、  
新たな時代を拓く人がいる。  
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

## 【東近江市概要】

- 面積 388.37 km<sup>2</sup>
- 人口 110,853 人
- 世帯数 47,927 世帯

(令和7年10月1日現在)



【発行】令和8年3月

527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市市民部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>